

『消化器系のCT画像の診方・骨転移の画像の診方について

がんと緩和の知識を深めよう。』

第3回研修会の開催についてお知らせです。3回目内容は、「消化器系のCT画像の診方・骨転移の画像の診方について」を行います。リハビリを行う上で、画像所見は必要です。脳や骨などは見慣れていると思いますが、がんでは消化器系の画像を診ることが多いです。そこで今回は消化器系の画像の診方について、知識を深める機会となればと思っています。普段の仕事の中での、がんのリハビリテーション・緩和ケアの悩み・疑問、どんな小さなことでも、みなさまと共有できればと思います。目の前の患者様にできることをつないでいきましょう。皆さまと「一緒に」、和歌山のがん・緩和リハビリテーションがまた一歩、前に進む時間となれば幸いです。



日時：2017年7月23日（日）（予定）9：30～12：00

場所：北出病院（和歌山県御坊市湯川町財部728-4）

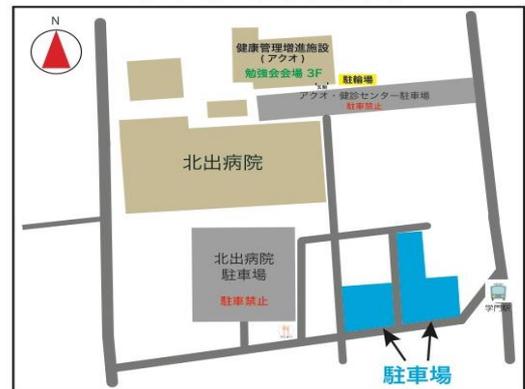
（北出病院の裏 アクオ3F 会議室）

対象：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、医師、  
看護師、社会福祉士、介護支援専門員、その他

定員：なし

参加費：無料

駐車場 & 勉強会会場



講演・講師：『（仮）消化器系のCT画像の診方・骨転移の画像の診方』時間9：30～11：00（質疑応答含む）

社会医療法人 黎明会 北出病院 理事長 北出 貴嗣医師

脳や骨折などのCT画像は普段の仕事から診る機会があります。しかし、消化器系のCT画像などはあまり診る機会がなく、診てもわからないことが多いと思います。今回、消化器系の基本的なCT画像の診方（がん、胸水、腹水など）や骨転移の画像の診方の知識をつける機会となればと思います。

講演・講師：『（仮）病院看取りから在宅復帰した症例』時間11：10～11：50（質疑応答含む）

北出病院 作業療法士 久留米 孝浩

消化器系のがん患者で外来通院しながら化学療法を行い、化学療法の副作用やがんによる両下肢の浮腫が出現し、リハビリが導入される。その後、状態が悪化し、入退院を繰り返す。現在は在宅で過ごされているが、外来から退院までの期間に関わったことについて発表する。

【問い合わせ・参加申し込みメール】

wakanwa-ot@freeml.com件名に「研修会参加」と記載し、久留米孝浩宛までお気軽にご連絡下さい。

主催：和歌山がん・緩和作業療法研究会 北出病院 久留米 孝浩